令和 8 年度

第 3 回

ウェブデザイン技能検定

2 級

実技試験概要

試験にあたっての注意事項

受検者は本試験の留意事項・注意事項に留意して作業を行うこと。
受検者は作業 1 から 4 までの 4 作業を必須とし、作業 5a・作業 5b より 1 作業を選択し合計 5 作業を 120 分間で行うこと。
試験問題の詳細は、試験当日配布する。

試験実施にむけての留意事項

試験は、PCを利用して実施される。課題で利用する素材は、実技試験実施の際に配布される。課題は適切なフォルダ(ディレクトリ)に保存を行うこと。作成するファイル名には全角文字は使用せず、半角英数字のみとして、スペースなどを入れずに作成すること。またファイルのデータ形式、拡張子等にも留意すること。保存先は設問で作成を指示されたフォルダを作成し保存すること。保存するデータは課題分のみとし、不適切なデータの保存や不要なファイルがある場合は減点の対象となる。

本検定試験では、HTMLについては HTML Living Standardを対象とする。CSSについては CSS Snapshot 2026（https://www.w3.org/TR/css-2026/）の「2.1. Cascading Style Sheets (CSS) － The Official Definition」で定義されている仕様を対象とする。

＜試験用 PC＞

試験に利用する PC には Windows 11 がインストールされている。利用する PC には、キーボードおよびマウスが備えられている。

＜アプリケーション＞

試験用 PC には、以下のウェブコンテンツ作成用ソフトウェアがインストールされている。試験では以下のソフト以外は利用する事はできない。受検者は各データを処理するために適切なものを各自で判断し使用すること。

画像処理ソフトウェア	**Adobe Photoshop**
JavaScript ライブラリ	**jQuery**
テキストエディタなどのソフトウェア	**サクラエディタ、TeraPad、Sublime Text、Visual Studio Code**

上記ソフトウェアについては、標準設定でインストールを行っている。また、メモ帳（※）など Windows 標準のアクセサリが利用可能である。特に監督者からの指示・説明がない場合、上記ソフトウェアを利用することができる。なお、監督者は以上のソフトウェア使用法に関わる質問に対する回答、操作補助は行わない。また Adobe Photoshop は原則 CS6 から CC としているが、試験会場により、CS3、CS4、CS5、CS5.5 の場合がある。jQuery はバージョン 3 とする。

＜ブラウザ＞

本試験では以下を指定ブラウザとする。また、ウェブブラウザに標準機能として搭載されているデベロッパーツールについては利用可能である。

Microsoft社	Microsoft Edge 最新安定版
Mozilla Foundation	Mozilla Firefox 最新安定版
Google	Google Chrome 最新安定版

作業 1

ウェブサイトデザイン	2) 画像の作成・加工と利用

仕様に従って、ナビゲーションシステム用のパーツ画像をデザインし作成すること。設定された仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。

- ・ファイル形式
- ・ファイルサイズ(幅×高さ)
- ・解像度
- ・色数
- ・ナビゲーション項目
- ・バリエーション
- ・その他

作業 2

ウェブサイトデザイン	3) マルチメディアデータの作成・加工と利用

仕様に従ってアニメーションを作成すること。アニメーションの形式はGIF(GIF89a)形式、JavaScriptによる形式、animationプロパティとキーフレームを用いたCSSアニメーションのいずれかで作成すること。設定される仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。また配布される素材ファイルを指示通りに使用しなければならない。

- ・ アニメーションの寸法(幅×高さ)
- ・ 指定された素材画像を適切に利用すること
- ・ 配布された素材ファイルを指示どおりに利用すること
- ・ 指示されたアニメーション設定がなされていること
- ・ 指定されたファイル容量に留意して作成すること

作業 3

ウェブサイトデザイン	1) ハイパテキストマーク付け言語(HTML)、拡張可能なハイパテキストマーク付け言語(XHTML)、スタイルシート(CSS)によるコーディング
	2) 画像の作成・加工と利用
	3) マルチメディアデータの作成・加工と利用
	5) ページデザイン・レイアウト

仕様に従って、作業 1、2 および 3 で完成したファイルを検定指定ウェブブラウザでもれなく閲覧できるように、HTML ファイルに配置すること。設定される仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。HTML ファイルと他のソースファイルは別のフォルダに保存してもよいが、その場合は、必ずウェブブラウザで表示できるようパスの設定を行うこと。またパス設定は絶対パスを使用しないこと。

- ページタイトル設定
- レイアウト図に従いレイアウトを行うこと
- アニメーションの配置(表示)とレイアウト
- CSS によるコンテンツレイアウトと配色
- ナビゲーションパーツの配置とレイアウト
- 指定された機能への対応(ロールオーバーなど)

作業 4:

ウェブサイトデザイン	1) ハイパテキストマーク付け言語(HTML)、拡張可能なハイパテキストマーク付け言語(XHTML)、スタイルシート(CSS)によるコーディング
	5) ページデザイン・レイアウト
ウェブサイト運用管理	2) 更新・管理

HTMLファイルのエリアに、指定されるテキストファイルの文章を配置し、更新すること。配置する文章は、その文章内容にもとづいて構造化されること。

作業 5a:

ウェブサイトデザイン	1) ハイパテキストマーク付け言語(HTML)、拡張可能なハイパテキストマーク付け言語(XHTML) によるコーディング

仕様で示されるフォームの条件、およびHTTPリクエストインタフェース(各パラメータ)に従って、HTMLファイルを作成すること。設定される仕様の要件はすべて含まれなければならない。

作業 5b:

ウェブサイトデザイン	4) スクリプトの利用

与えられるHTMLファイルが指示どおり動作するように、JavaScriptのファイルを編集すること。

以上